

シンポジウム

「非行少年」 に寄り添う

～全面的国選付添人制度の実現を目指して～

非行を起こした少年たちは、少年審判を受けます。少年審判では、弁護士が「付添人」として少年をサポートします。大人の刑事事件であれば、費用のない人でも「国選弁護士」の援助を受けることができます。しかし、少年事件では、「国選付添人」が付くのは重大事件に限られます。私たちは、「国選付添人」として、多くの少年をサポートできるようにすることが大切だと考えています。

そこで、市民の皆様は、少年審判の実情や少年事件に取り組む弁護士の活動を知っていただき、大人が子どもたちの成長・発達にどのように関わるべきかを一緒に考えるために、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

2011年(平成23年)

参加無料

3月10日 木

開場 17:30 開会 18:00

場所

札幌市教育文化会館 4階講堂

(札幌市中央区北1条西13丁目)

内容

① **基調報告**

「全面的国選付添人制度の実現を目指して」

日弁連全面的国選付添人制度実現本部事務局長 弁護士 須納瀬学氏

② **講演**

「子どもたちの今～弁護士にできること」

社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長 弁護士 坪井節子氏

③ **パネルディスカッション**

「子どもは大人のパートナー」

坪井節子氏

谷 光氏 (札幌「非行」と向き合う親たちの会世話人)

内田信也氏 (弁護士 札幌弁護士会子どもの権利委員会)

坪井弁護士のプロフィール



1953年東京都生まれ。78年早稲田大学第一文学部哲学科卒業。80年弁護士登録。87年東京弁護士会「子どもの人権救済センター」相談員登録。2004年NPO法人カリヨン子どもセンターを開設、08年社会福祉法人認可。著書に「子どもは大人のパートナー」、「居場所を失った子どもを守る 子どものシェルターの挑戦」(明石書店)などがある。

主催：札幌弁護士会 共催：日本弁護士連合会、北海道弁護士会連合会

お問い合わせ

札幌弁護士会 子どもの権利委員会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館
TEL 011-281-2428 (代表)